

公開講演会

詩人尹東柱（ユン・ドンジュ）とともに・２０２７

皆さんはユン・ドンジュ（尹東柱）をご存じですか。
ユン・ドンジュは１９１７年に朝鮮民族のひとりとして生まれ、詩を愛し敬虔なクリスチャンとして生きようとする青年でした。日本による植民地支配の下で生きざるをえなかったユン・ドンジュは、１９４２年４月に立教大学に入学、その後同志社大学に移りますが、治安維持法違反で逮捕され、民族の解放を半年後に控えていた１９４５年２月１６日に福岡刑務所で獄死しました。しかし、生前かなわなかった朝鮮語による詩集の出版が解放後に実現すると、彼は広く愛される民族詩人となったのです。

２０２７年２月２１日（日）１４時

事前申込不要／参加費・資料代なし

第１部　１４時～　礼拝・詩の朗読（韓国語・日本語）
立教学院諸聖徒礼拝堂（立教大学池袋キャンパス）
チャペルが満席の場合、恐縮ですがＤ２０１教室にご案内いたします。
中継を通じてご参加をお願いします。

第２部　１５時～　講演会　金応教（キム・ウンギョ）先生
「新たに出会う尹東柱：「童詩春」、「木」、「愛の殿堂」、「八福」、「十字架」を再読する」
１４号館Ｄ２０１とＤ３０１教室

立教大学の卒業生を中心とした「詩人尹東柱を記念する立教の会」は、ユン・ドンジュを記憶し日本の植民地支配の歴史に向き合うため、２００８年より彼の亡くなった２月に追悼礼拝とともに公開講演会を開催してまいりました。立教学院も２０２５年１０月に池袋キャンパスにユン・ドンジュの詩碑を建立し、彼の存在が問いかけるものを考えようとしています。２０２７年の講演会ではユン・ドンジュについて研究を重ねてこられたキム・ウンギョ（金応教）先生をお招きし講演していただきます。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■講師プロフィール

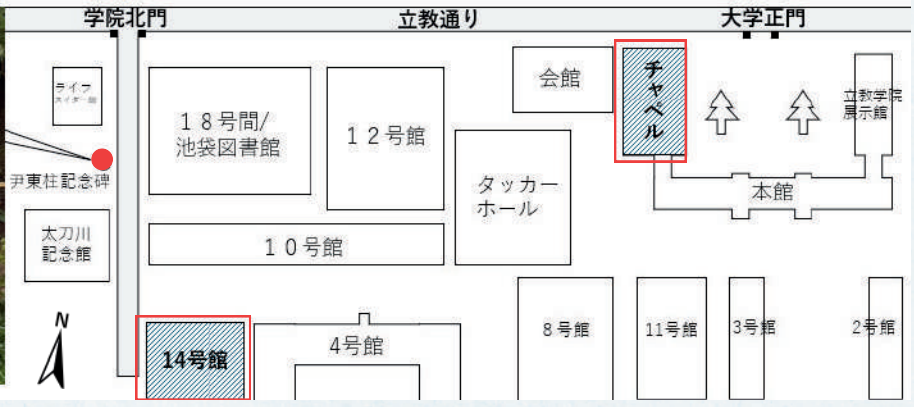


詩人、文学評論家、淑明女子大学教授。1962年生まれ。延世大学神学科卒、1998年延世大学国語国文学科博士課程修了、文学博士。1996年東京外国語大学大学院特別研究生。1997年東京大学大学院比較文学研究室外国人研究員。1998年度から早稲田大学オープン教育センター客員教授(専任待遇)として任用され、2009年度まで文学部の授業を担当した。2011年度から淑明女子大学基礎教養学部教授。

尹東柱や申東曄ら近代詩人の研究で知られており、日本文学の翻訳にも努めてきた。著書に尹東柱に関する4冊の著書、評伝である『のようにー詩で出会う尹東柱』（2016）『木があるー尹東柱散文の森で』（2019）、『33回の出会いー白石と東柱』（2020）、『尹東柱文学地図、歩かなければならない』（2025）、訳書に谷川俊太郎『二十億光年の孤独』（2009）などがある。日本語では著書『韓国現代詩の魅惑』(新幹社, 2007)、日本語に翻訳された高銀詩選集『いま、君に詩が来たのか：高銀詩選集』（佐川亜記共訳、藤原書店、2007）などがある。

■会場案内及び尹東柱記念碑の位置図





主催　詩人尹東柱を記念する立教の会
共催　立教大学 平和・コミュニティ研究機構
協力　立教大学　チャプレン室
協力　福岡　尹東柱の詩を読む会
　　京都　同志社コリア同窓会　尹東柱を偲ぶ会
　　東京　尹東柱の故郷をたずねる会

お問い合わせ　E-mail ：dongju.memory@gmail.com